



(社)牛久市シルバー人材センター広報部会

牛久市女化町859-3

電話029-871-1468

e-mail usiku@sjc.ne.jp

登録会員数：男 399 名 女 124 名 合計 523 名（10 月末現在）

理事長研修報告

新任理事長研修を受講して

牛久市シルバー人材センター
理事長 鈴木 伊平

平成 21 年 7 月 29 日(木)・30 日(金)の二日間、千葉市国際能力開発支援センターにおいて開催された全国シルバー人材センター事業協会主催の新任理事長研修会に出席した。

研修の目的は、組織及び事業執行責任者としての事業への取り組み方・考え方・諸案件に対する対処法などの習得である。

出席者は、北海道から鹿児島まで 109 名で、茨城県は石岡と牛久からであった。議事は、徳永志朗氏(全国シルバー人材センター事業協会研修支援課長)の進行で進められ、征矢紀臣氏(全国シルバー人材センター事業協会会長)の挨拶で始まった。挨拶の要旨は、「わが国は世界一の長寿国である。われわれは社会を支える側に立ち、働くことにより社会に貢献すべきである。2012 年に団塊の世代が 65 歳を迎えるので、それまでに働き場の確保に努めて欲しい…」と。

講師には全シ協の各部長・課長が当たられた。その講義の内容の一部を紹介すると、「2010 年度までに 100 万人(現 76 万人)の会員とする目標は、閣議決定されたものであり達成に努力して欲しい。人口減社会・少子高齢社会の進展から、センターを取り巻く環境は大変厳しい。事業の創出を図って欲しい。適正就業に勤めて欲しい。企画提案方式による事業の展開を図って欲しい。重篤事故が目立つ。安全就業の徹底を図って欲しい…」等々。講義のほかに90分間の分科会が

あり、各センターの現状・悩み・あるべき姿など、忌憚のない討議・意見交換ができた。これは大変インパクトもあり有意義であった。

次は、各分科会の代表者が発表したものの中から、特に興味深いもの、今後取り組むべきと思われるものをピックアップした。

- ◆ 女性会員の増強と高齢者の就業について考慮すべきである。
 - ◆ 理事長と事務局との定期的会議(連絡会)をもつべきである。
 - ◆ 理事としての自覚・認識が欠如している。積極性を持って取り組むべく指導すべきである。
 - ◆ 事務局員が少ないからと言って、やるべきことをやらないのは愚かなことである。
 - ◆ 剪定や駐車場・施設管理等でのトラブルが多い。会員の指導・モラルの向上を図るべきである。
 - ◆ 企画提案は、「教育」「子育て」「介護」「環境」から選ぶべき。最初から採算が合うのは少ない。やれるものからやる方針で臨むべきである。
 - ◆ 重篤事故の 7 割以上は、ヘルメット・安全ベルト(命づな)の未着用者が多い。装着の義務化を図るべきだ。着用しない者には就業させない…、で望むべきとの声があった。
 - ◆ 長期就業・最低賃金違反等の行政指導を受けたセンターあり、要注意である。
- これ等のことについて、早急に当センター内を検証し、見直すべきところは見直す、やれるものはやる、で望むべきであろう。



総務部会

専門部会活動報告

平成21年7月～9月



ブロック活動について

- ・8月12日ブロック長会議にて、ブロック活動の一環として事務局からの各種文書郵送物を会員が配付することに決めました。
- ・9月に入りテストケースとして、第1回目の配付を行った結果、表札がない、アパートの部屋番号がない等の理由で5通が戻りましたが、無事配付することが出来ました。
- ・ブロック長さんご苦労様でした。これで11月から予定通り文書類の配付を行いたいと思っております。

◎会員の皆様へ

お住まいの町名地番変更、マンションの部屋番号、〇〇様方などの変更及び記入もれの方は事務局までお知らせください。表札も掲示頂けると有り難いです。

事業部会



1、派遣事業推進について

茨城県労働局から派遣事業取扱いの認可を受けて下記の施策を実施いたしました。

- (1)牛久市内約1500の事業所を対象にDM(アンケート付き)を8月に実施いたしました。その結果、85社から「詳しい話を聞きたい」「関心がある」との回答をいただき、現在1社ごとに折衝を続けています。
- (2)理事研修会の開催:9月10日(木)に当センターの理事を対象に研修会を開催、理事全員が出席し、派遣事業に対する知識を深めました。
- (3)会員に対する説明会の開催:9月17日(木)に会員を対象に説明会を開催しました。約30名の会員の方が出席しました。説明会終了後、直ちに派遣登録をされる会員もいて関心の深さが感じられました。

2、「パソコン教室」の開講

会員の皆さまにはDMでご案内をいたしました。当センターの独自事業としての「パソコン教室(有料)」を9月19日に開講いたしました。3名の会員が講師として就業されました。本教室は今後も継続実施いたしますので皆さまの受講をお待ちしております。

安全部会



9月14日の安全部会で鈴木理事長が全国シルバー人材センター事業協会主催の研修会での注目点を述べられ、安全部会としては次のような**安全部会方針**を打ち出した。

- ① 牛久市シルバー人材センター安全部会は作業中の墜落、転落事故の防止を徹底的に指導していく。
- ② 就業中の会員にヘルメットの着用を徹底させる。
- ③ 事故防止の徹底を図るため、植木剪定班、除草班の各班長との会合を行い、作業ルールを確立する。

部会ではこの問題を煮詰めるため平成22年1月21日(木)に植木剪定班、除草班の各班長を招集し、この方針に基づいて作業のルール作りに取り組む。



広報部会



1. シルバーだより「うしく」夏号の発行

新形式における第21回総会の報告記事を巻頭に、新理事長の基本方針を紹介、また新任理事の抱負等を紹介。今年度安全就業推進大会において「高齢者の心理、行動分析」を基にした安全対策記事を掲載した。

2. インフルエンザ対策チラシの発行

新型インフルエンザの爆発的な流行に対する現状の説明及び、インフルエンザ重症化対策、インフルエンザの症状が見られた時の対応方法などを特集し、会員全員に配付した。

3. 新規会員募集の駅頭チラシ配布活動

10月19日(月)と23日(金)の2日に分け、牛久駅東口、西口において、朝の7時より約1時間をかけ、会員募集のチラシを配布した。幟を立て、揃いの半被を着た理事さんたちが、定年間際と思われるサラリーマンを対象にシルバー人材センター入会の「会員募集」チラシを配った。



安全部会だより



安全部会に鈴木理事長の檄が飛ぶ

安全部会へ、鈴木理事長のご出席を願い、茨城県シルバー人材センター連合会 及び全国シルバー人材センター事業協会の研修会等の内容を聞かせて頂きながら、安全部会への励ましの言葉と共に、事故対策の遅さに対する厳しい檄を受けた。

- ① 最近5ヶ年シルバー保険に係わる全国シルバー人材センター事業協会のまとめでは、事故者率は若干減少傾向にある一方、重篤事故件数は前年と同数であったが、中でも就業中の事故は 35 件(内 30 件が死亡事故、前年は 20 件)と過去最悪の状況 となっている。
- ② 墜落、転落死亡事故の原因は安全帽、安全ベルトの未装着が 70%以上を占めている。
- ③ 通勤途上の女性会員の自転車事故も目立っている。

鈴木理事長は牛久市シルバー人材センター安全部会に、今後積極的に安全帽・安全ベルトの着用を指導するよう強く要求された。安全部会では、この問題を煮詰め、平成 22 年 1 月 21 日(木)植木剪定班、除草班の各班長と会合を開き、作業ルール作りに取り組む。



かっぱつ体操

に参加しよう



安全部会では平成 21 年度安全部会活動指針に掲げた「健康管理の高揚」について「会員の体力向上に努め、楽しい余生を送る」ために体力維持が欠かせません。この為 牛久市高齢福祉課講師のご指導で「かっぱつ体操」に積極的に参加して頂き体力の向上をはかって頂きたい。「かっぱつ体操」が行われる区民会館・集会場に各自が行って頂き、楽しい「かっぱつ体操」に参加されますよう牛久市シルバー人材センター安全部会一同お願い致します。

◎ 牛久市高齢福祉課主催「かっぱつ体操」が行われる区民会館・集会場は下記の通りです

<平成 21 年度かっぱつ体操行政実施状況>

行政区名	実施日	実施場所	行政区名	実施日	実施場所
上町	第 3 水/13:00	区民会館	柏田台	第 3 火/13:30	集会所
下町	第 2 金/13:30	自治会館	猪子	毎月 10 日/13:30	自治会館
刈谷	毎火/10:00	4 丁目児童公園	むつみ	第 4 土/9:30	区民会館
	毎水/10:00	2 丁目児童公園	一厚東・西	毎週木/13:30	区民会館
城中	第 3 金/9:30	区民会館	下根ヶ丘	第 2 土、第 4 日/10:00	自治会館
田宮	第 2 水・第 3 火/10:00	区民会館	東岡見	第 3 日/9:00	区民会館
つづじヶ丘	第 1・3 金 第 2・4 水/13:30	区民会館	竹の台	第 2 火/10:00	自治会館
第 2 つづじヶ丘	第 4 木/10:30 第 1 土/9:00	区民会館 区民会館		第 4 日/9:00	自治会館
			松ヶ丘	第 2・4 火/13:30	自治会館
向台	火・木・土/6:00	自治会館前	女化	第 2 木/13:30	区民会館
緑ヶ丘	第 2 月/9:30	区民会館	第八岡見	第 2・4 日/9:30	自治会館
みどり野	第 1・3 水/10:00	区民会館	上池台	第 2 土・第 4 水/9:30	区民会館
東みどり野	第 2・4 火/10:00	区民会館	女化西	毎木/10:00	区民会館
栄町	毎金/8:30	栄町グランド	小坂団地	毎月・第 1・3 金/13:30	区民会館
栄西	第 2・4 日/14:00	集会所	ひたち野	第 2 土/10:00	集会所
神谷	第 2・4 日/10:00	公会堂	ひたち野東	第 1・3 土/9:30	ひたち野東 355 街区公園
かわはら台	毎週土/9:30	自治会館	びゅうパルク	第 1・2・4 火/13:30	ゆりセンター
			ひたち野		

いきいきドライバーセミナー

に参加して講師から学ぼう

平成21年度安全部会で開催を予定している「自転車交通安全講習会日」が決まりました。牛久市役所防災課講師による自転車交通安全講習会は下記の期日で開催されます。会員から多くの受講者をお待ちしています。今年例年に比べ、趣向を凝らし、「腹話術」を交えた自転車交通安全講習会です。この自転車交通安全講習会は牛久市シルバー人材センターが行っているもので、シルバー人材センター事務局に申し込みをお願い致します。

自転車交通安全講習会開催期日

- ◎平成22年 1月18日(月) 午前 10時～
- ◎牛久市総合福祉センター 1・2会議室
- ◎申し込み：牛久市シルバー人材センター (029-871-1468)
- ◎当日の人数にかぎりがありますので、お早めに申し込みをお願いします。
- ◎牛久市シルバー人材センター主催「自転車交通安全講習会」に参加された会員には「自転車交通安全講習会修了証」をお渡し致します。

牛久市シルバー人材センター 安全部会

「牛久市介護予防大会」が開催されます

市では、市民が元気な今のうちから自らの体力づくりを実践できるように、講演会と転倒予防体操の紹介をいたします。第一部の講演会では、NHKなどのメディアにも登場している講師に、市で行われている取り組みの内容を交えて、今から直ぐに実践できる体力づくりを紹介いたします。第二部では、転倒予防体操の実践を行います。ぜひ、この機会に若い方から年配の方まで幅広くご参加いただきますようお願いしております。

日時：平成21年11月21日(土) 午後 1時～4時
場所：牛久市中央生涯学習センター 文化ホール
内容：

第一部 介護予防講演会

テーマ：「筋トレで若返ろう」
～ 牛久市プロジェクトの成果を踏まえて～
講師：筑波大学准教授 久野 譜也

第二部 転倒予防体操実践

- 1.荒川ころぼん体操（東京都 荒川区参加）
- 2.ふじみパワーアップ体操（埼玉県 富士見市参加）
- 3.シルバーリハビリ体操（茨城県 シルバーリハビリ体操指導士）
- 4.うしくかっぱ体操（牛久市 各行政区の皆さん）

問合せ：牛久市役所高齢福祉課 873-2111(内線 1754)
牛久市シルバー人材センター(029-871-1468)



新型インフルエンザが大流行



厚生労働省によると、インフルエンザの集団感染の報告件数は、8月23日までの1週間で794件に上り、前週より約2割増加したと発表しています。

沖縄及び首都圏や近畿圏などで報告件数が増えており、25日までの1週間で新たに入院した患者数は105人で、急性脳症を起こした患者も4人確認され計8人となっています。

集団感染の報告件数は都道府県別に見ると、もっとも多かったのは沖縄の56件。ついで千葉40件、兵庫36件、京都34件、東京、大阪、熊本がいずれも31件、茨城30件、新潟30件となっています。

インフルエンザ重症化予防対策

- ①基本的感染予防対策の徹底（共同作業、同居家族、介護者などかかわる方も含めて）手洗い・マスク着用・人ごみへの外出自粛、定期受診、予防接種など
- ②予め主治医と新型インフルエンザ発生後の受診やクスリ処方の方法について相談しておくこと
- ③自分が新型インフルエンザに感染した場合の受診方法について主治医に確認しておくこと

インフルエンザの症状が見られた時の対応

- ① 発熱、咳やのどの痛みなどの症状が見られた場合には、外出を控えてください。
- ② 外出先で症状が見られた場合は、マスクを着用するなどの咳エチケットを実行してください。
- ③ 発熱などの症状が見られ、医療機関を受診する場合には、受診前に医療機関に電話をされてからお出かけください。
- ④ 特に基礎疾患をお持ちの方は、日頃からかかりつけの医師と相談をされ、早期受診と早期治療を心がけてください。

※今までは発熱相談センターに電話して発熱外来を受診していましたが、7月24日以降はかかりつけの医師に診ていただくことになりました。

緊急問合せ先：

	対応日時	電話番号
竜ヶ崎保健所	平日 8:30～17:30	0297-62-2161
茨城県庁	土・日・祝 8:30～17:30	029-301-4001
牛久市保健センター	平日 8:30～17:30	029-873-2111

会員募集：行配布



牛久市シルバー人材センターの理事全員が揃いの半被を着て幟を立て、牛久駅前で「会員募集」のキャンペーンを行い、定年間近い通勤途上のサラリーマンを対象に会員募集のチラシを配った。

- 1 実施期日 : 10月19日(月)、23日(金)
- 2 実施時間 : 午前7時～8時まで
- 3 実施場所 : 牛久駅西口及び東口の階段下
- 4 配布部数 : 1日につき500部を配布
- 5 参加人員 : 理事全員
- 6 実施要領 東口と西口の二手に分かれ、階段下に幟を立て、配布者は半被を着用して挨拶を交わし、チラシを渡す

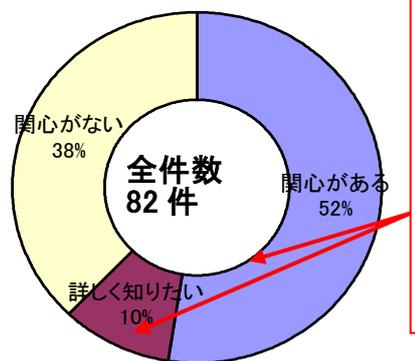
牛久市シルバー人材センター発展のためには会員の拡充は絶対条件。理事の皆さんは気合を込めて朝のひと時、勧誘に汗を流した。

人材派遣業務アンケートの結果

牛久市シルバー人材センターは労働者派遣業務への参入に当たって、牛久市内の事業者を対象とし、アンケート調査を行った結果、事業主から82件の回答を得ました。この中でシルバー人材センターにとって注目すべき事項の一つである「労働者派遣事業について関心があるか」という問いに対し、

- A. 「関心がある」と答えた事業主は43件(全体の52%)を占めました。
- B. 「詳しく知りたい」と答えた事業主は8件(10%)
- C. 「関心がない」は31件(38%)という結果が返ってきました。

下記のグラフを参照してください。



重点的
就業先
開拓活動

■ 関心がある ■ 詳しく知りたい □ 関心がない

この結果を活かして積極的な就業先開拓活動を展開致したいと思います。

フォト歳時記

キビタキ

牛久自然観察の森の、秋の楽しみは、キビタキの飛来です。日本には、夏鳥として東南アジアから春にやって来て、繁殖のため、山地に移動するまで、当地でも見られますが、秋は子育て後に数が増えてやって来ます。

他の地では、サワフタギの青い実を食べるのを見ることがありますが、牛久ではイヌザンショウの実や辛夷の実を食べています。

そのため、9月下旬から11月初めまで滞在しています。

春に若鳥だった個体も、立派に成長し、とても美しい黄色からオレンジ色をし、一度見ると皆さん感嘆の声を発し、好きになってしまう鳥さんです。

文・写真 加藤元廣



撮影：牛久自然観察の森にて



川柳

元総理 波に飲まれて タダの人
 高速道 乗らない人も 払わされ
 清純派 顔とは別に 私生活
 ハッ場ダム 中止してから 視察する
 CSへ 野村のボヤキ 効いたよう
 杉山の 後を継ぐのは 伊達なのか
 元財務 不慮の死まで 引き継いで
 — クボハゼ —

若者に 花を持たせる 老いの知恵
 子を駄目に するのに遺す 馬鹿な親
 習うより 馴れるが勝ちの 技術職
 — 井上梅太 —

無駄探し 霞ヶ関を 大掃除
 天下り 抜け道多く 視界ゼロ
 — 太平記 —

俳句

木陰濃く アゲハの 溶けし 残暑かな
 戸を開き 待つ宵の月 迎え入れ
 走りたく なるほど軽き 秋気かな
 革新の 空高らかに 金のタイ
 釣り出され 蛸にも似たり 落花生
 鈴虫や 茶を汲む 女の独り言
 — 金巖閑話 —

短命と思へば 哀しい 蟬しぐれ
 精一杯生きて 悔ひなし 虫しぐれ
 入院の生活ながし 秋深む
 — 井上梅太 —

狂歌

国民も茶番劇にへきえきで
 目先変わった寸劇が良いと
 マニフェスト良い事ばかり並べられりと
 知りつつ つい乗った馬鹿
 自民党に灸をすえる そのあまり
 大差の開き みんなビックリ
 無理やりに執行停止で出てきたが
 後の始末はどこから出す
 国連で 25%削減をたからかに
 目標だけで財源なくても
 — クボハゼ —

短歌

捨てる神あれば吾らは拾ふ神
 たちごっこのゴミの収集

トラックに粗大のゴミを山と積み
 意気ようようと仕事を終へる
 運転の基本をつねに心がけ
 無事故で仕事を終へてやすらぐ
 — 井上梅太 —

金木犀の香りと共に君誘いぬ
 ブラックベリーの苗携えて
 妹が愛でし 白き山茶花今日も咲く
 全く愁い無きがごとくに
 — 白蓮 —



素敵だね金色ネクタイ国際デビュー
 夫に買おうか 似合わないかな
 連れ添って ふるさと訪ね 墓参り
 縮んだ母の背 思い出巡る
 — キューピット —

●お知らせ●

会員募集

草取り・農業ヘルパー等、外作業可能な体力のある会員さんを募集しています。

●事務局だより●

会員の皆さんへのお願い

「明日からいかない…」 「明日から以前の仕事に戻る…」 など、急きょ現場を降りるケースが目立っています。

体調不良の場合を除き、現場を降りる場合は、シフト制で稼働していること、急きょ新しい会員さんが見つかるとは限りらないこと等をご理解いただき、できるだけ一ヶ月前にお伝えいただくと助かります。

設立 10 周年を迎え、皆さんの各就業先での活躍により今日のセンターは支えられています。日頃の「あいさつ」や「誠実な仕事ぶり」を大変評価していただいています。次世代へ向けても、引き続きいい仕事が続けられるようご協力よろしくごお願い申し上げます。

